

知る！よむ！まなぶ！
こどもも大人も楽しめる

Shibuya Midori.Times

シブヤ ミドリ タイムス

2025年 秋号

vol. 02

ふどうさん



STEP

生きものみつけ！秋のシブヤ、ワクワクさんぽ

都会で出会う、ちいさな発見の旅へ



1

代々木公園をぐるり。 ポニーと出会う都会の森さんぽ

さんぽ時間:約3時間 | 距離:約4.5km

スタートは **A「原宿駅」**。木でできた日本最大級の **B「明治神宮・大鳥居(二の鳥居)**」をくぐって、境内へ。100年前に人の手で植えられた“奇跡の森”を歩いて **C「本殿**でお参りしたら、**D「代々木ボニー公園**に行こう。ポニーに乗ったり、ニンジンをあげたりして触れあえるよ。 **E「参宮橋門(西門)**」から代々木公園に入ると、20種類以上の木々が並ぶ園内で、ツグミやジョウビタキなどの冬鳥や一年中いるメジロなどの野鳥観察が楽しめる。落ち葉やドングリ拾いもできるし、**F「日本航空発始之地**では、日本で初めて飛行機が飛んだ記念の石をチェック！国際競技場を見ながら **G「ケヤキ並木**」を歩き、最後は **H「代々木公園BE STAGE**へ。芝生広場やベンチでひと休み、自然も満喫。耳をすますと、コオロギやスズムシの鳴き声が響いて、秋だけのコンサートが始まるかも！

2

代官山から目黒川へ、 秋色をさがす冒険

さんぽ時間:約2時間 | 距離:約2km

A「代官山駅」を出発すると、すぐ **B「フォレストゲート代官山」**。ここは400品種を超える植物が育つ“代官山の森”。アオダモやヤマボウシなどの在来の木にヒヨドリやメジロがやって来るよ。アキアカネも飛んでいるかも！ **C「旧朝倉家住宅(重要文化財)**では、大正時代の家と紅葉・黄葉のきれいな庭を見学しよう。 **D「代官山T-SITE**はきれいな植栽と木に囲まれた空間がすてき。大きなプラタナスや季節の花が楽しめて、緑の下で読書するのもおすすめ。次は **E「西郷山公園の展望台**へ。秋晴れの日には富士山が見えることもあるよ。坂を下って **F「目黒川沿い**へ。落ち葉が流れ、水鳥が休んでいる様子も発見できる。最後は **G「郷さくら美術館**で芸術の秋を感じて、中目黒駅がゴール！自然と街、両方の秋を楽しめるコースだよ。



都会の真ん中に、森や川、小さな虫や鳥たちの世界があるって知ってる？ 渋谷から代官山や青山まで広がる4つのコースを歩けば、イチョウ並木や屋上庭園、川べりの小道など、街にひそむ大自然が顔を出すよ。どんぐり、小鳥、虫たちを「みつけ！」しながら、秋の宝さがしに出かけよう！

③

表参道から外苑へ。 空中の森と黄金トンネル

さんぽ時間：約2.5時間 | 距離：約4km

- Ⓐ 「明治神宮駅」を出発したら、Ⓑ 「東急プラザ表参道 オモカド」の屋上「おもはらの森」へ。地上30メートルの庭には、鳥やチョウが好きな植物がたくさん。巣箱や水飲み場に集まる小鳥も観察できるよ。Ⓒ 「青山熊野神社」ではケヤキやクスノキの大木が道の上に広がって、光がきれいに差しこむ。Ⓓ 「明治神宮外苑のイチョウ並木」は、約300メートル、146本がすらりと並んで黄色いトンネルみたい！秋だけの絶景だよ。Ⓔ 「ののあおやま」は地域とつながる複合施設。小川や起伏のある樹林帯は、虫や鳥が集う“都会のオアシス”だ。Ⓕ 「表参道のケヤキ並木」を抜けて、Ⓖ 「東急プラザ原宿 ハラカド」へ。町を一望できるテラスや、おいしいグルメ、銭湯も。さんぽの最後にぴったりだね！



④

小さな森と川をめぐる 渋谷ネイチャートリップ

さんぽ時間：約2時間 | 距離：約3km

- Ⓐ 「渋谷駅」を出発したら、Ⓑ 「渋谷クラス」へ。屋上テラスや外の植えこみには、ススキやツツジなど四季を感じる植物がいっぱい。小さな生きものも見つかるよ。次は Ⓣ 「金王八幡宮」。源義家の戦勝伝説がある神社で、ケヤキやクスノキの大きな木と秋色の葉がきれいだよ。Ⓓ 「氷川の杜公園」では、スダジイやシラカシなど緑がたくさん。四季を通して鳥や虫もやってくるんだ。Ⓔ 「渋谷区ふれあい植物センター」では、温室でハーブやサボテン、食虫植物など、100種類以上の植物を探検できるよ。Ⓕ 「渋谷リバーストリート」の川沿い遊歩道では、水鳥を観察したり、落ち葉が流れる様子も見られる。ゴールは Ⓣ 「渋谷サクラステージ」。「はぐくみSTAGE」広場では在来種の植物にチョウや小鳥がやって来るよ。都会のまんなかで自然と街の両方を楽しめる冒険コースだ！



臨川小学校の子どもたちがチャレンジ! 環境にやさしい建物ってどんな形?



学んで、つくって、伝える 未来をえがく子どもたち

「こんな家があったらいいな」「まちの中にも自然がほしい」——そんな思いを形にする授業が、渋谷区立臨川小学校で行われた。テーマは「まだ見ぬ建物」。子どもたちが“建築家”になって、自分のアイデアを発表。未来のまちを思いえがく模型は、どんな形かな?



東急不動産では、2024年から渋谷区といっしょに、公立の小中学校で探究「シブヤ未来科」の授業をお手伝いしている。まちをつくる仕事で学んだことを生かして、子どもたちが環境を感じられるような授業を進めているんだ。また、再生可能エネルギー事業では、環境教育プログラム「ReENE ÉCOLE（リエネ エコール）」の出前授業も行っている。これは、子どもたちの再生可能エネルギーに関する理解をさらに深め、環境に優しい取り組みについて共に考えることを目的に実施しているんだ。

臨川小学校では、2025年6月にこの出前授業が初めて行われた。授業では、再生可能エネルギーや建物の緑化、生きものの多様性について、みんなで楽しく学習。クイズに答えたり、先生の話に声を返したりするうちに、生活と環境のつながりに気づくきっかけとなった。その後図工の時間では、「まだ見ぬ建物」の模型づくりにチャレンジ。屋上に木を植えたり、太陽光パネルを載せたり、それぞれが工夫を重ねて作品を仕上げていった。

そして9月は、いよいよ発表会。順番に自分たちの作品を紹介。子ども建築家たちのユニークなアイデアに、会場のみんなもびっくり! 最後には東急不動産の社員がプロの目線で感想を伝えてくれて、「こんな工夫もいいね」というアドバイスも。自分の考えを形にして、友だちと伝え合うこと。それが、未来のまちや環境を考える大切な一歩になるんだ。

東急不動産ではこれからも渋谷区や学校と協力して、子どもたちが楽しく学べる環境教育プログラムを続けていく。これから先、きみたちのアイデアが未来を動かしていくはずだよ。



本のじかん

都会のまんなかで出会える大自然

都会のまんなかにも、メジロやシジュウカラ、小さな虫や木の実など、思った以上にたくさんの自然が広がっている。この本は、そんな身近な生きものを探すおさんぽ図鑑。150種類以上の植物や昆虫、小鳥が大きな写真で紹介されていて、見つけたその場で「これだ!」とわかるのがうれしいポイント。ページを開きながら歩けば、落ち葉ひとつだって研究対象に早変わり。観察のコツや季節ごとの楽しみ方も載っているから、秋のおさんぽがもっとワクワクに。軽くて持ち歩きやすく、図鑑を片手に公園や街を歩けば、ふだんのさんぽが小さな冒険に変わるはず。



「子どもと一緒に見つける
身近な生きものさんぽ図鑑」
著 NPO法人自然観察大学(永岡書店)

